



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

2016 - 2017 年度テーマ

R.I. テーマ 「変化をもたらす」

R.I. 会長 イアン H.S. ライズリー
地区ガバナー 吉田 雅俊

クラブテーマ 「身も心も健康で、前に進もう」

クラブ会長 田村 順二



2018年2月14日

第1528回例会

会長 田村 順二
幹事 浜中 清

本日の卓話

会員卓話 「最近のコンビニ事情」

宮村義男 会員

今後の卓話予定

2/21 地区大会に振替のため休会

2/28 会員卓話 「仏事あれこれ」

中村良英 会員



年間100%出席

斎藤 彰悟君 10回

前回 (2/7 1527 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 2名

前カンボジア留学生 サン・ソムアート 様
東京浅草中央ローターアクトクラブ 三浦慎太郎 様

◆ビジター 3名

東京東江戸川 R.C. 嶋村 文男 様
東京葛飾 R.C. 鈴木 康友 様
東京荒川 R.C. 中村みさ子 様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
44名	1名	3名	35名	5名	87.50%	1525回例会修正 欠席4名・出席率89.19%

会長報告 <田村会長>

・台東区は住みやすい街です。1km²以内のコンビニ、小売店の数は23区内で一番多いのです。薬局の数も一番多い。診療所の数は23区で5番目に多いようです。台東区は

“生活に必要な物が全て徒歩で調達できる区”という事ができます。住みやすい台東区で長く健康で元気に暮らしていけるようにがんばりましょう。

幹事報告 <浜中幹事>

・本日例会後、理事・役員会を行いますので、

理事、役員の方は忘れずに事務所にお集まり下さい。

委員会報告

<男の料理教室 丸岡校長>

・来週2月14日(水)14時～

第2回男の料理教室が開催されます。皆さ

ま、ふるってご参加のほど、何卒よろしく
お願い致します。

ご入会おめでとう!!



ほん まとしひろ
本間俊弘 会員



つね み ひでひこ
常見英彦 会員



かたおかたかゆき
片岡孝之 会員

ニコニコボックス

<東京東江戸川 R.C. 嶋村文男 様>

- ・高校の同級生である常見英彦君、入会おめでとうございます。素晴らしいロータリーライフを！

<田村会長、浜中幹事>

- ・本間さん、常見さん、片岡さん、ご入会おめでとうございます。

<太田、宮村、山尾、丸岡、常見、斎藤、上原>

- ・サン・ソムアートさん（前カンボジア留学生）、
「本日の卓話」宜しく願いいたします。

<高木>

- ・平昌オリンピックいよいよ開幕！ がんばれ日本。がんばれ日本選手。

<宮村、太田、江連、後上、天笠、内田、山尾、丸岡、小林（博）、古谷、河村、斎藤、岩田、園部、長沼、植木、尾泉、松本、原田>

- ・本間さん、常見さん、片岡さん、ご入会おめでとうございます。

<天笠、渡辺、山尾、片岡>

- ・お誕生日のお祝いをして戴き、有難うございました。

<宮崎>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

卓 話

「なぜ留学すると決めたのか」



前カンボジア留学生

サン・ソムアート様

名前はサン ソムアートです。ニックネームはまじめです。なぜ「まじめ」というニックネームなのかはこれからのお話の中に出てきます。

・なぜ留学すると決めたのか？

私は高校を卒業してから、鬼 一二三先生とおっしゃる日本の方が教えている日本語学校に通いました。日本語学校に通う目的は日本語を学んで日本語ツアーガイドになるためでした。ほかの目的は考えていませんでした。留学することも全く考えていませんでした。しかし、私はほかの学生と違って、ただ会話や文法を勉強するだけではなく、漢字も自分で独学で練習をしていました。クラスメートに笑われたこともあります。「君は漢字を話すんですか」と言われました。しかし、私はこう返しました。「漢字が分かれば、お客様が持っている情報やガイドブックを読むこともできるし、自分の案内している内容とお客様が持っている情報の差を埋めることができるよ。」そう考えて、漢字を勉強しました。一度、一二三先生に向かって、「先生、漢字が分かりますか。どのぐらいわかりますか。」とうかがったことがあります。日本人に向かってこんな質問は失礼だったと思いますが、自分はどれだけ漢字を身に着けたら先生のように日本語が使えるようになるのか、自分の目標にしたくてうかがったのです。このことがあって、まじめというあだ名をつけていただきました。

日本語を学んで2年がたった頃に、先生に「マジメ君は本当にガイドになりたいんですか」と聞かれました。正直ガイドは自分の意志でなろうとは思っていませんでした。両親にガイドの試験はなかなか行われないから、とりあえず受けてみてダメだったらそれでいいし、と言われて受けてみたら受かったのもそのままでの流れでガイドを目指す形になっていたのです。こう説明したら、先生に「マジメ君は本当はもっと違うことをやりたいんじゃないですか、見聞を広めるために留学したらどうですか」と勧められました。その時は本当に迷いました。私は農家の家庭の息子です。皆さんも想像できると思いますが、留学するとしたら私にとって最大の問題は学費の問題です。しかし、もし本当に留学したいなら、学費などは支援してくださる方がいらっしゃるよと言われました。それを聞いて、色々考えて留学することに決めました。

私が日本に留学したのは、自分の可能性を高めたいというのが一番大きな理由でした。ガイドはいい仕事ですが、もしそのまま日本語ツアーガイドをやっていたら、今の先輩ガイドのようにツアーガイドから抜けられませんが、自分の将来はどうなるのか、ほぼ決まっています。案内がうまく、評判が良ければ、たくさんの仕事をもらえます。そうでなければ、仕事があまりもらえなくなります。ガイドの道であれば、さっき言った通り人生が見えています。しかし、留学してからの人生はどんなものか見えませんでしたからそれを見たいと思ったのも一つの理由です。

その時は、留学すると決めても、そんな簡単に留学することはできませんでした。私が心配した通り、学費を免除してくれる大学はそんなにありません。プノンペンでは日本の大学フェアが催されていたので、留学すると決めてから毎回参加しました。しかし、私が行ける大学はありませんでした。殆どは国費留学生を目当てにしていたからです。当時は、私は21歳でしたから、もう国費留学生試験が受けられる年齢ではありませんでした。国費留学制度があるという話は、その時初めて知りました。シエムリアップは田舎なので、国費留学試験制度の情報が出回っていませんでした。農家の息子で留学することなど考えていなかった自分が悪かったのかもしれない。

けれども、ちょうど当時立命館アジア太平洋大学に通っている先輩がいました。私より前に皆様にご支援をいただいていたティエロ先輩です。その大学なら応募が可能でした。それで、立命館アジア太平洋大学に応募しようと決めました。ラッキーなことに高校の成績がちょっと良かったので、あとの問題は日本語能力試験一級だけでした。日本語能力試験一級は、そう簡単に受かるものではありません。カンボジア人で一級に受かる人は日本に何年も留学に来たことのある学生だけです。自分もそんなに簡単に取れるとは思っていませんでした。あきらめて、2級レベルのままで応募してみたところ運よく授業料80%免除で合格できました。残り

20%はどうするかということで、こちらのロータリークラブのメンバーでいらっしゃる長島さんに支援をしていただき、日本に留学する夢がかないました。

20%の学費は私の家庭にとって莫大なお金です。長島さんに支援して頂けなかったならば、私の人生はカンボジアだけで終わっていたらと思います。しかし、長島さんのご支援によって、私の未来がこんなに明るくなって参りました。

2016年9月に立命館アジア太平洋大学を卒業でき、一部上場の物流会社に就職が決まりました。昨年4月に入社して今にいたっています。この会社にしても、私の可能性を伸ばしてもらえる会社だと思います。第一に、入社してから7月まではずっと研修だけでした。そして、色々な資格を社員に取得させます。それで、社員教育に力を入れている会社だなと感じました。私には、同じことを繰り返してやるのではなくて、様々な勉強を続けていこうという精神が残っているので、これからの可能性に結び付けられるのではないかなと思います。第二に、待遇がいいことです。同じ時間働いていても、カンボジアで働いている人と比べたら、日本のほうがずっと給料がいいのですが、それだけではなく、仕事をするを通して自分の能力も高められます。私はただお金が欲しくて、日本に残るのではなくて、時間を有効に使えることに価値があると思っています。

今私は自分の給料から投資もしています。投資といっても株などではなく、将来の人材育成への投資で、毎月5万円を家族に仕送りしています。その5万円には、二人の弟の学費が含まれています。私はカンボジアにいたとき、授業料が払えなくて、クラスを休まざるを得なかったことがあります。ですから、二人の弟には休まずに勉強してほしいと思い、二人の学費は私が支払っています。二人のうち一人は働いていますが、1カ月の給料は1万5千円程度で、昼ごはんはガソリン代だけでほとんど消えてしまいます。私は自分が支援をいただいたお蔭でここまで登って来られたから、今度は弟たちに支援をして自分の将来のために頑張してほしいです。

ところで、お金がなければ何もできませんが、お金がいくらあっても時間を買うことはできません。それで、時間はお金よりも大事だと考え、自分が留学している間でも3人の弟の将来のために、アドバイスをしたりしています。

自分が日本に来てすごく驚いたのが、日本の教育です。小学校にはボランティア活動で何回か行ったことがあります。日本に来る前も日本の教育の話聞いたことがあります。自分が行った小学校は田舎のほうですが、音楽の授業があり、水泳用のプールやサッカー用のグラウンドもありました。音楽の授業を参観させていただいたとき、本物のピアノを演奏することにとっても驚きました。すごく羨ましいなと思っていました。なぜカンボジアは教育の重要性についてもっと考えないのだろうと思いました。日本は沢山の才能のある人材に恵まれています。教育に力を入れないカンボジアは、世界大会に出場できるスポーツ選手がとても少ないです。歌の世界では、他国のものを恥ずかしいとも思わずにコピーしてきました。最近ではフェースブックなどで批判されたから、オリジナルのを作る運動が始まっています。

一二三先生の学校では日本語のみではなく、武道や書道や歌などの日本文化を学ぶこともできます。弟は、空手で黒帯が取れ、大会にも何回か出たことがあります。そして、週に一回ぐらい音楽の授業があるので、その音楽の授業にもちゃんと出るように指示しています。弟は、私よりもいい人生、面白い人生が送れるのではないかと期待しています。今まで何回か親に日本語の勉強はいいけど、空手はやめさせたほうが良いと言われたことがあります。しかし、私は絶対全部やらせたほうが良いと断りました。ただ働くための能力だけでは、人生に面白みがないと思います。たくさんのことを体験・経験したほうが人生には意味があります。今弟には日本に留学してほしいからもっと日本語の勉強も努力するように言っています。

今からちょっと日本語学校と日本語学校にかかわる話から離れて話をします。

真ん中の弟は高校卒業後、専門学校に入らせました。今シエムリアップ空港に勤めていますが、今の状況だけで満足しないで、もっと自分の能力を高めるように言っています。そして、働きながら夜間大学に通わせています。もちろん学費は私が出しています。また同じことを言っているかもしれませんが、こんな風に考えられるのは日本に留学したからだと思います。

最後になりますが、私が来日できたのは、間違いなく皆様のおかげです。皆様には私達の日本語学校も今までずっと支援をしていただいているとうかがっています。もし日本語を学んでいなければ、日本語もできなくて、日本に留学することもなかったはずです。そして、カンボジアで、ボランティアとして20年以上にわたり日本語を教えている鬼 一二三先生がいなければ、ここまで来られなかったはずです。ボランティアと言いましたが、皆様からのご支援なしにはいくら物価が安いカンボジアでも活動は続けられません。今まで皆様のご支援があったおかげで、私にも後輩たちにも明るい未来があります。一二三先生の日本語学校は、ただの日本語学校ではなくて、私たちにとってもっとたくさんの意味があります。私と弟の人生はもちろんのこと、今まで日本語学校に通っている2,800人もの田舎の学生たちの新たな人生を作り上げていただきました。改めて感謝の言葉を使わせていただきます。どうもありがとうございます。これからもどうか私たちの日本語学校・カンボジアの学生を引き続きご支援ください。本日は貴重なお時間をいただき、どうもありがとうございました。

<今週担当 宮崎守弘>